

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	臥竜公園庭球場	所在地	須坂市臥竜三丁目1番1号	
施設分類	スポーツ・観光系施設	所管課	文化スポーツ課	
財産区分	行政財産	敷地面積 (m ²)	109.66	
居住誘導区域	該当	防災関連施設	非該当	
設置根拠	須坂市体育施設条例	設置の目的・経緯	体育の振興を図るため	交通アクセス バス停県民グランド入口から徒歩9分
事業内容		貸付の有無	有	
管理運営の状況	その他	委託内容	使用料収受については公益社団法人須高広域シルバー人材センター	
備考 (その他特記事項)				

2 建物の状況

階数 (主たる建物)	地上	1	地下	0	建築面積	109.66	延床面積	109.66
構造 (主たる建物)		W造			建築年度 (主たる建物)	1981	築年数 (主たる建物)	43
取得価格		10,500,000			耐震化の状況		更衣室及び管理棟 耐震診断未実施	
帳簿原価		10,417,700			バリアフリー対応		AED	
減価償却累計額		10,417,699			省エネルギーの対応状況			
老朽化率		100%			施設の劣化状況			

3 施設コスト

単位（千円）

費用		2022	2023	2024	3年間の平均値
	人件費	446	458	465	456
	委託料	6,161	6,008	6,843	6,337
	光熱水費	1,359	1,185	1,552	1,365
	維持補修費	1,105	2,406	995	1,502
	減価償却費	0	0	0	0
	指定管理料				
	その他	426	574	1,780	927
費用合計		9,497	10,631	11,635	10,588

収入	利用料等収入	1,089	1,169	1,187	1,148
	国庫補助金等収入				
	その他				
	収入合計	1,089	1,169	1,187	1,148

収支	-8,408	-9,462	-10,448	-9,439
利用者一人当たりコスト	0.96	0.96	1.13	1.02

修繕履歴	金額	4,104	内容	2019年度 クレイコート改修工事
		1,298		2023年度 人工芝部分補修工事
改修履歴	金額		内容	
今後10年間での大規模改修費用	人工芝張替工事50,000			

4 施設利用状況

利用対象	誰でも	
開館時間	平日	3月～11月 午前5時から午後9時30分
	休日	3月～11月 午前5時から午後9時30分
	平日	12月 午前8時30分から午後9時30分
	休日	12月 午前8時30分から午後9時30分
	平日	1月から2月 午前8時30分から午後5時
	休日	1月から2月 午前8時30分から午後5時
休館日	12月29日から翌年1月3日	
駐車場の有無	有	

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2024の比較
年間利用者数	9,881	11,129	10,269	10,426	-2%
年間利用可能人数					
利用率					
(参考) 年間目標利用人数					
年間利用時間		2,063	2,058	2,061	0%
年間利用可能時間		5,158	5,146	5,152	0%
稼働率		40%	40%	40%	0%

公共施設評価結果シート

施設名	施設名称	称
		臥竜公園/庭球場

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	B	1	平均と比較して少ない (50%以上100%未満)
	合計	1	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない (50%未満)
	B	1	平均と比較して少ない (50%以上100%未満)
	C	0	平均と比較し同規模 (100%以上150%未満)
	D	-1	他施設と比較して多い (150%以上200%未満)
	E	-2	他施設と比較してかなり多い (200%以上)

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた (0%以上)
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
貸館利用率	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	合計	3	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた (10%以上)
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた (0%以上)
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った (-5%以上)
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った (-10%以上)
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率 【B】パターン	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	D	-2	100%
耐震性能	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
バリアフリー	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴	B	1	必要な改修がある程度行われている
	合計	-4	

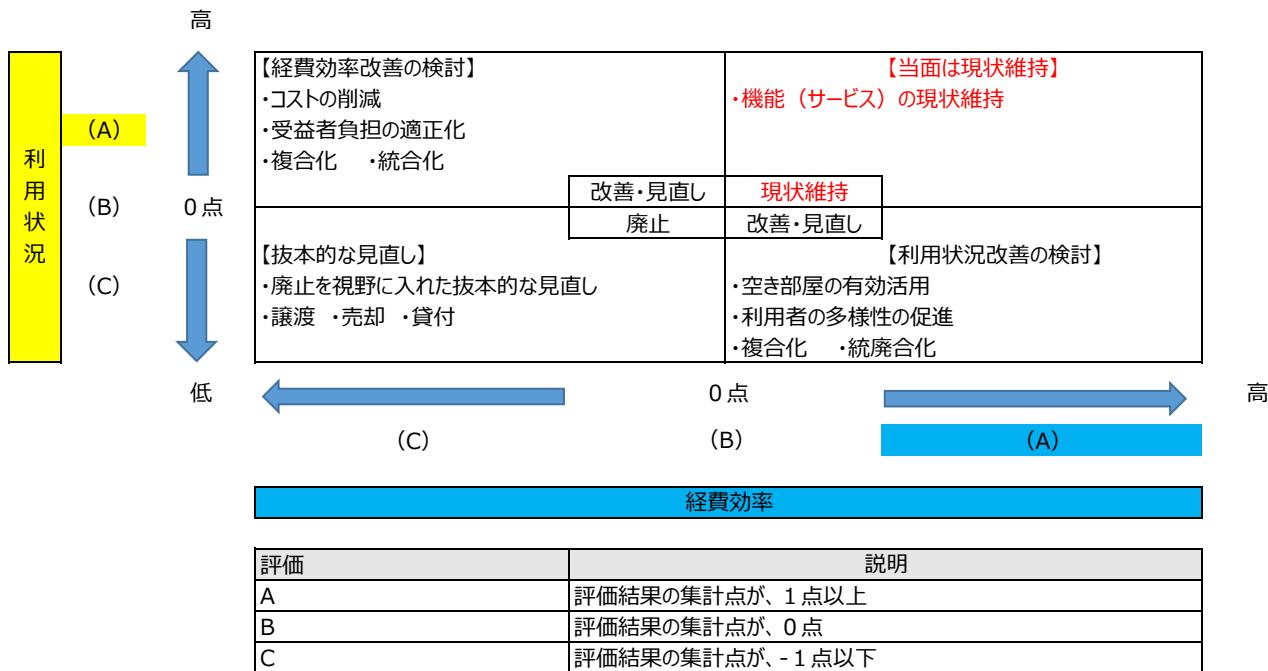
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴（P）	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	1
縦軸	必要性による評価	3
	合計点数	4

【当面は現状維持】



3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方向性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	-4	横軸
縦軸	必要性と経費効率からの評価	4	縦軸
	合計	0	

【長寿命化の検討】

